

## ミルナシプラン塩酸塩錠「アメル」服用時の注意 ～病気と薬の理解のために～

うつ病の治療は「休養を十分にとること」と「薬の服用」が基本です。

このお薬は、SNRIと呼ばれる抗うつ薬で、うつ病やうつ状態などの病気の治療に使われます。脳の中には、気分や意欲を調節している神経伝達物質があります。うつ病はこの物質のバランスがくずれることが原因のひとつといわれています。このお薬により、神経伝達物質のバランスを整えて、その働きを正常化していきます。

### ご使用前の注意

このお薬の類薬において、18歳以下の大うつ病性障害のある人では、有効性が確認できなかったという報告があります。18歳未満の大うつ病性障害のある人は、医師と十分に相談してください。

### お薬のみ方

- ✿ 通常は、1日量を2～3回に分けて、食後にコップ1杯の水かぬるま湯でのみです。
- ✿ 勝手にのむのを中止したり、量を減らしたりすると、病気が悪化することがあります。 医師の指示どおりにのみ続けることが大切です。
- ✿ このお薬をのむのを終了する場合には、時間をかけて、少しずつ量を減らしていきます。 自分の判断でのむのを中止してはいけません。医師の指示どおりにのんでください。

### 服用中の注意

- ✿ のみ始めてすぐに効果はあらわれません。のみ続けると脳内に作用して神経伝達をスムーズにし、抑うつ気分や不安を和らげます。
- ✿ 自動車運転等が必要な場合は、必ず医師に相談してください。  
特にのみ始めや他のお薬からの変更、のみ量を変更した時は、めまい、眠気などの症状があらわれやすくなりますので、自動車運転等を行う場合は、医師の指示に従ってください。  
また、医師に自動車運転等が可能と判断された場合においても、めまい、眠気等の体調不良がある場合は、絶対に自動車運転等を行わないでください。
- ✿ 妊娠または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ✿ 授乳はさけてください。

❁ うつ病やうつ状態の人は死んでしまいたいと感じることがあります。  
このお薬をのんでいる間、特にのみ始めやのむ量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなることがあります。このような場合には、医師に相談してください。

❁ 次のような症状があらわれた場合には、医師に相談してください。

- 不安になる
- イライラする
- あせる
- 興奮しやすい
- 発作的にパニック状態になる
- 敵意をもつ
- 攻撃的になる
- ちょっとした刺激で気持ちや体の変調をきたす
- 衝動的に行動する
- じっとしていることができない

このお薬との関連性は明らかではありませんが、これらの症状があらわれた人の中には、うつ症状などともともある病気の症状が悪化する場合や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。

❁ ご家族の方は、患者さんが死にたいという気持ちになったり、上記のような行動の変化や症状の悪化がおこることについて医師から十分説明を受けてください。また、日頃から患者さんを注意深く見守り、言葉や態度に気になる変化がみられた場合には医師に連絡してください。

うつ病は「よくなったり、悪くなったり」を繰り返しながら  
少しずつ回復していきます。

治療は長くなることが予想されますが、あせらず、  
ゆったりと構えて治療を受けることが大切です。



ご家族や周りの人に病気を理解してもらうことも  
治療にはかせません。

そのためにも、ここに書いてある内容を身近な人に伝えてください。

ほかの医療機関を受診される際には、このお薬をのんでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

治療中に、上記以外にも気になる症状があらわれた場合には、医師または薬剤師に相談してください。